

## 平成27年度 議会報告会開催要領

## 1 趣旨

飯田市自治基本条例に規定されている、「開かれた議会運営」また「議会への市民参加の推進」を果たすための取組と位置付け、議会報告会を起点に市民の声を政策づくりに反映できるように取り組むことを目的とする。

## 2 主催／共催

飯田市議会／各地区まちづくり委員会

## 3 時期

平成27年10月1日（木）～10月8日（木）

## 4 内容及び時間

テーマ「平成27年度議会報告会 ～市民の声が反映できるまちを目指して～」

会議/時間	内 容
<b>全体会</b> 19:00-19:15 [15分間]	※ 総合進行〔広報広聴副委員長〕 開会のことば〔広報広聴委員長〕 議長挨拶〔議長〕 ・議会改革を含む議会活動報告、議会報告会を起点とした政策づくりの流れについて〔議長〕 ・自治基本条例の配布、啓発 全体会終了後、分科会会場に移動
<b>分科会</b> 19:20-20:40 [80分間]	時間配分は分科会ごと正副委員長にお任せする。
	第1部〔常任委員会報告〕 [昨年度は概ね30分程度] ・報告会開催前1年間の定例会における主な議案審査状況報告 ・平成26年度の議会報告会における市民意見等に基づく調査研究結果の報告、回答 ・行政評価における市民意見等の反映状況報告
	第2部〔分科会ごとの意見交換会〕 [昨年度は概ね50分程度] ・テーマに基づく意見交換 分科会終了後、全体会会場へ移動
	第1分科会（総務委員会） テーマ「どのような地域にしていきたいですか。 ～若い人たちに何を残しますか～」
	第2分科会（社会文教委員会） テーマ「病気になった時、病院や診療所の『かかりつけ医』は持っていますか ～子どもから高齢者まで、『健康で安心して暮らせるまちづくり』をめざして～」
	第3分科会（産業建設委員会） 次の2つのうち、1つをブロックごとに設定 テーマ1「みんなで考えよう！『若者が帰って来られる仕事づくり、地域で働く人づくり』とは」 テーマ2「地域資源を生かし、地域経済や地域の活性化を図るには」

<b>全体会</b> 20：45-21：00 〔15分間〕	まちづくり委員会代表挨拶（感想、御意見等） 分科会の概要及び謝辞〔議長〕 閉会のことば〔副議長〕
-------------------------------------	--

## 5 開催日程等

ブロック	地 区	開催日	会 場
竜 東	下久堅 上久堅 千代 龍江	10月1日（木）	龍江公民館
中 部	松尾 竜丘 川路 鼎	10月2日（金）	松尾公民館
西 部	三穂 山本 伊賀良	10月5日（月）	伊賀良公民館
北 部	座光寺 上郷	10月6日（火）	上郷公民館
飯田5地区	橋北 橋南 羽場 丸山 東野	10月7日（水）	羽場公民館
遠 山	上村 南信濃	10月8日（木）	上村コミュニティセンター

- (1) 全議員が全てのブロックへ出席し、所属する常任委員会に関する分科会に参加する。
- (2) 事務局は6ブロック全てに出席する。（分科会への出席は担当者）
- (3) 都合で欠席する場合は、委員長又は事務局へ必ず連絡を行う。
- (4) まちづくり委員会向けの開催要領にも出席する議員名を記載し事前に周知する。
- (5) まとめの全体会において、まちづくり委員会の代表1人から感想、御意見等の言葉をいただく。どなたに行っていたかかは、まちづくり委員会で調整を依頼する。

## 6 当日の役割分担（記録は開催日順）

分科会	担 当 議 員	
第1分科会 〔総務委員会〕	説明	（委員長）吉川秋利
	進行	（副委員長）古川 仁
	記録	木下徳康（竜東）、熊谷泰人（中部）、木下容子（西部）、山崎昌伸（北部）、林 幸次（飯田）、井坪 隆（遠山）
第2分科会 〔社会文教委員会〕	説明	（委員長）新井信一郎
	進行	（副委員長）清水可晴
	記録	竹村圭史（竜東、飯田）、福沢 清（中部・遠山）、後藤荘一（西部）、中島武津雄（北部） 村松まり子
第3分科会 〔産業建設委員会〕	説明	（委員長）永井一英
	進行	（副委員長）湊 猛
	記録	湯澤啓次（竜東・遠山）、森本政人（中部）、小倉高広（西部）、清水 勇（北部）、原 和世（飯田）

※ 原則として、分科会における「説明」は常任委員長が、「進行」は副委員長が担当し、「記録係」は（ ）内のブロックを担当する。記録係は昨年度と同じブロックの担当とならないようにずらして議席番号順に割り当て。

- (1) 会場への集合時間は原則18時とし、会場準備を行う。委員会で事前に会議や準備をする場合は、集合時間より前に行うこととする。
- (2) 会場準備は、受付設営、看板の掲示、机椅子の配置、分科会の案内表示等を行うとともに、受付時には、受付簿の記載、資料・アンケートの配布などを協力して行う。
- (3) 分科会の進行及び説明は正副常任委員長が担当し、分科会の記録は「記録係」が担う。
- (4) 記録の担当となった議員は、市民から出された意見、要望、提言などの要点を箇条書きで記録するとともに、報告会終了後一週間以内に「議会報告会記録書」を事務局へ提出する。

- (5) 分科会における意見交換会用の資料については、当該常任委員会の判断で、当日配布する。
- (6) 副委員長は、意見交換会の主な意見（要旨）を3つ程度箇条書にしたメモを、分科会後の全体会の前に議長に手渡す。
- (7) 議長は分科会後の全体会において、分科会からのメモに基づき分科会の様子を紹介する。

## 7 市民から出された意見等への対応と取扱い

- (1) 二元代表制としての議会の役割を発揮できるように心がける。
- (2) 受付時に資料とともにアンケートを配布し、後日集計を行いまちづくり委員会に報告する。
- (3) 分科会では、常任委員会ごと活動報告を行い、内容に対する意見・要望を出してもらう。
- (4) 常任委員会における「調査・研究」の経過報告については、議会報告会における委員会活動報告の中で行う。
- (5) 分科会における意見交換会は、結論を出す場ではなく、課題等を共有する場と位置づけ、意見や感想等を出してもらう。
- (6) 市の執行機関に対する質疑については、基本的には聞き置き、要望、意見については執行機関に伝える。
- (7) 議会に対する質問については、可能な限り議会として責任を持って回答する。また、議会に対する意見、要望は全ブロック取りまとめ、後日、まちづくり委員会へ報告する。
- (8) 議会としてこれまでに議決した案件や確認してきている事項等については、会派や議員個人の見解は避け、議会を構成する一員として良識ある言動に努めるものとする。

\*リニアに関する意見・要望への対応（第1、第3分科会は、意見要望が出る可能性あり）

「リニア中央新幹線に関する現状について把握するため、市議会では特別委員会を設置して、市側からリニアに関連する工事や整備に関する計画や事業の進捗状況等について報告や説明を受け、市議会としても調査研究し、必要に応じて提言している。市民の皆さんからの意見、要望等については広く伺いながら、特別委員会での審議や、市への提言の中で市民の声として反映していきたい。」という立場で臨む。

・詳細な工事進捗については、飯田市の説明を聞いていただくようにする。要望については、回答せずに向う。意見交換会でどうしても説明が必要な場合、各常任委員会に所属する、リニア推進特別委員会の委員が、委員会での審議状況等話せる範囲での説明を行う。

- (9) 意見交換会における意見等の中から「問題発見」を行い、所管の委員会において、特に取り上げて解決すべきものや実現すべき問題を「課題設定」する。その上で、「調査・研究」の対象としたものについては、「問題分析」をして政策立案につなげる。
- (10) 課題設定をした意見等の中で、調査・研究は行わないものの、「引き続き、情報収集に努める」としたものについては、行政評価の評価対象として組み入れる。
- (11) 市民から出された意見・要望・提言等のその後の取扱結果については、各まちづくり委員会へ報告し情報の共有化を図っていく。

## 8 分科会会場及び駐車場について

### (1) 分科会会場 【開催日順】

ブロック	会場	全体会	第1分科会	第2分科会	第3分科会
竜東	龍江公民館	大会議室	大会議室	講義室1・2	視聴覚室
中部	松尾公民館	ホール	ホール	和室1・2	講座室
西部	伊賀良公民館	講堂	講堂	大会議室	第1会議室
北部	上郷公民館	205会議室	205会議室	204会議室	103会議室
飯田5地区	羽場公民館	大会議室	大会議室	講義室	研修室
遠山	上村コミュニティセンター	大会議室	大会議室	研修室	和室

※分科会会場は変更する場合がある。

(2) 駐車場

ブロック	場 所
竜東	龍江公民館駐車場 (JAの駐車場)
中部	松尾公民館駐車場 (松尾小学校職員駐車場)
西部	伊賀良公民館駐車場 (伊賀良小学校 サブグラウンド)
北部	上郷公民館駐車場 (JA上郷支所駐車場)
飯田5地区	羽場公民館駐車場 (羽場曙友会、労働基準協会駐車場)
遠山	上村自治振興センター駐車場 (議員はマイクロバス移動)

\*参加する市民の皆さんに会場に近いメインの駐車場を使ってもらえるようにする。

\*会場周辺の駐車場は、借用する状況により調整が必要。

9 分科会へ出席するための目安

(1) 第1分科会 (総務委員会)

所管部署	分 野	まちづくり委員会等(目安)
○総務部 ○総合政策部	○地域自治	○自治・地域振興関係委員会
○リニア推進部	○男女共同参画	○生活安全関係委員会
○市民協働環境部	○リニア中央新幹線	○消防団
○危機管理室	○環境 ○防災	○赤十字奉仕団
○選挙管理委員会	○交通安全 ○選挙	○環境関係委員会など
○監査委員		

(2) 第2分科会 (社会文教委員会)

所管部署	分 野	まちづくり委員会等(目安)
○健康福祉部	○保健	○健康福祉関係委員会
○病院事業	○福祉	○民生児童委員
○教育委員会	○介護	○福祉関係団体
	○医療	○公民館 ○小中学校PTA
	○学校教育	○青少年健全育成関係委員会
	○公民館	○保育園保護者会など

(3) 第3分科会 (産業建設委員会)

所管部署	分 野	まちづくり委員会等(目安)
○産業経済部	○産業振興 ○労政 ○農業	○自治・地域振興関係委員会
○建設部	○林業 ○商業 ○工業	○財産区など
○上下水道局	○市街地活性化 ○観光	
○水道局	○土木 ○建設 ○都市計画	
○農業委員会	○公園管理・道路愛護	
	○上下水道	

10 当日準備品

レジュメ、配布資料、アンケート、受付簿、次第書、看板、筆記用具、カメラ、ICレコーダー、名札、問答例など

※分科会配布資料は各担当により準備

11 その他

(1) まちづくり委員会向けの開催要領を作成するとともに、所長会及びまちづくり委員会連絡会において協力を依頼する。

(2) 議会報告会の周知については、チラシを作成し組合回覧により参加を呼びかける(9月15日頃の配布を予定)。

- (3) 議会報告会用の資料は別途作成し、当日、参加者へ配布する。
- (4) 分科会への参加人数のバランスについては、自治振興センターの所長と調整し配慮していく。
- (5) 議会報告会終了後は、各委員会で報告会の反省・総括を行うとともに、各分科会での意見や参加者アンケートを踏まえ、年度内に平成28年度の開催方針を決定する。

## 12 分科会意見交換会におけるテーマについて

### 第1分科会（総務委員会）

テーマ	どのような地域にしていきたいですか。 ～若い人たちに何を残しますか～
テーマに係る課題（背景）	第6次（次期）基本構想基本計画の基となるような、市民との意見交換を行いたい。
意見交換会で話し合いたい点	今年度、総務委員会が重点的に取り組みを行いたい項目として、 ①「空き家対策」 ②「ポイ捨て等環境問題」 ③「防災対策」 を挙げています。 これらの視点から、どんな地域にしたいと考えているのか、そのためにどんなことが課題なのか、市民の皆さんからの意見をお聴きし、意見交換させていただきます。

### 第2分科会（社会文教委員会）

テーマ	病気になった時、病院や診療所の『かかりつけ医』は持っていますか ～子どもから高齢者まで、『健康で安心して暮らせるまちづくり』をめざして～
テーマに係る課題（背景）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が成立し、高齢化が進行する中で、社会保障制度を将来も維持していくために、医療・介護提供体制の構築や、医療・介護を対象とした新たな税制支援制度の確立、地域包括ケアシステムの構築などを行い、地域における医療と介護の総合的な確保を推進する法律が施行されました。今後は、地域における医療と介護の連携がますます重要になります。また、病院の機能分化が進められる中、市民意識はどうか、市民との意見交換を行い、課題を明らかにする。</li> <li>・昨年開催した議会報告会『元気で長生きする健康寿命都市を目指して』をテーマとした経緯を踏まえ、病気等万が一の時どうするか、子どもから高齢者まで市民の現状を把握し、治療体制を検証する。</li> <li>・介護に至った時の連携はどうか、地域包括ケアシステムの構築を目指し、委員会での管外視察地先進事例と飯田・下伊那圏域の実態を把握して、将来、医療と介護の連携のまちづくりに取り組む。</li> </ul>
意見交換会で話し合いたい点	<p>高齢化が進行する中で、地域における医療と介護の連携がますます重要になります。また、「市立病院とかかりつけ医」のように、病院の機能分化が進められる中、市民の皆さんはこの地域の医療や介護に関してどう感じ、どう考えているか、身近な事例から意見交換させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気になった時、かかりつけ医を持っていますか。</li> <li>・救急車を呼ぶ時(プライバシーなど)気にしますか。</li> <li>・検診で再検査と言われた時、どうされますか。また検診体制はどうですか</li> <li>・市立病院の役割をご存知ですか。</li> <li>・地域の病院・診療所について思うことはありますか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅での医療体制は充実していますか。</li> <li>・在宅での介護体制は充実していますか。</li> <li>・在宅での看護(子どもや高齢者の) はどうしていますか。</li> <li>・病児病後児保育は利用していますか。</li> <li>・発達障害者の早期発見と対策について、こども家庭応援センター開設をご存知ですか。</li> <li>・認知症の知識は持っていますか</li> <li>・看取りについてどうお考えですか</li> </ul>
--	---

第3分科会（産業建設経済委員会）

テーマ	<p>次の2つのうち、1つをブロックごとに設定</p> <p><b>1 みんなで考えよう！「若者が帰って来られる仕事づくり、地域で働く人づくり」とは</b></p> <p><b>2 地域資源を生かし、地域経済や地域の活性化を図るには</b></p>
テーマに係る課題（背景）	<p><b>テーマ1</b></p> <p>日本は既に人口減少時代に突入し高齢化社会を迎えているが、飯田市においては、それ以上のスピードで人口が減少し、高齢化が進むと予想されている。人口が減れば、働き手が減り、消費も減り経済の縮小などにつながるるとともに、地域のコミュニティの担い手も減ることで、地域の活力が失われていく。また、若い人が地域から流出することで、将来的に高齢者の医療・介護などを支えていくことも難しくなっていく。</p> <p>飯伊地域を毎年卒業する高校生の内、約300人前後は地域内へ就職するが、全体の70～75%に当たる高校生は進学や就職のため地域外へ転出する。そして、一旦地域を離れた高校生の内、300～350人ほどが地域に戻って就職しており、高卒就職者を含めた地元への回帰率は40%前後となっている。</p> <p>こうした現状の下、一人でも多くの若者が地域で働き続けられる、また、一旦は地域を離れた若者が再び地域に戻って働けることが地域にとって最大の課題となっている。</p> <p>このような状況は、全国的に見ても地方においては同じような傾向で、現状を打破するため地方創生の取り組みがスタートしている。飯田市においても、今年度中に人口の将来展望である「飯田市人口ビジョン」と、これを基に新たな雇用創出や移住の促進など、飯田市の特性に応じた具体的な施策と目標を盛り込んだ「地方版総合戦略」の策定に取り掛かっている。</p> <p><b>テーマ2</b></p> <p>以前から、自然環境や農産物などの地域資源を活用し、地域の活性化を図る必要性は共有され、取組もなされてきた。</p> <p>しかし、地域資源をほかの地域にない魅力や価値にまで高める取り組み、さらに地域資源が活用されることで地域や地域経済が活性化されるまでには至っていない。</p> <p>国で示された「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」においても、地方創生の深化を目指す取り組みの一つとして、地域資源の活用が掲げられている。また、県において示された施策展開の方向性（中間とりまとめ）においても「地域資源を徹底的に活用する県づくり」が掲げられている。</p> <p>今までも行ってきた地域資源を生かす取り組みを、さらに飛躍発展させるためには何が必要か。ともに考えたい。</p>

<p>意見交換会で 話し合いたい点</p>	<p><b>テーマ 1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ U・J・I ターンの推進について。</li> <li>・ 高速交通網時代を見据えた職業や働き方について。</li> <li>・ 地域で働く人を増やすにはどのような業種や職種の充実が必要と考えますか。</li> <li>・ 企業・市民・行政それぞれの立場から、あるいは連携して、この地域に帰って来たい、また働きたいと考える若者に対してどのような支援策が考えられますか。</li> </ul> <p><b>テーマ 2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地区における地域資源活用保全の取組の現状や課題について。</li> <li>・ 地域資源をほかの地域にない魅力や価値にまで高める取り組み、さらに地域資源が活用されることで地域や地域経済が活性化されるためには、どのような活動が必要と考えますか。</li> <li>・ そのために必要な行政の役割と支援をどのように考えますか。</li> </ul>
---------------------------	--